

# 「原子力・放射線部門」技術士試験について

## 1. 試験科目

技術士の試験は、第一次試験、第二次試験各々以下の試験科目があります。

### <第一次試験>

科目	内容	配点	試験時間
基礎科目	科学技術全般にわたる基礎知識を問う問題 28問中15問解答（5分野各3問）※1	15点 満点	1時間
適性科目	技術士法第4章（技術士等の義務）の規定の 遵守に関する適性を問う問題 15問解答（全問）	15点 満点	1時間
共通科目	5科目（数学、物理学、化学、生物学及び地学） のうち受験者があらかじめ選択する2科目に ついて、共通的基础知識を問う問題 1科目20問×2科目（合計40問）	40点 満点 (1科目 20点)	2時間
専門科目	原子力・放射線部門について、共通的基础知識 及び 専門知識を問う問題	50点 満点	2時間

#### ※1 基礎科目の5分野

1. 設計・計画に関するもの（設計理論、システム設計等）
2. 情報・論理に関するもの（アルゴリズム、情報ネットワーク等）
3. 解析に関するもの（力学、電磁気学等）
4. 材料・化学・バイオに関するもの（材料特性、バイオテクノロジー等）
5. 技術関連（環境、エネルギー、品質管理等）

#### ●試験科目の免除

次の学歴、資格を有している者は、第一次試験の共通科目は免除されます。

- ・大学の学部を卒業し学士の学位（理科系の専攻分野に限る）を有する者  
又はこれと同等以上の学力を有すると認められる者
- ・原子炉主任技術者、第1種放射線取扱主任者、核燃料取扱主任者、第2種電気主任技術等の資格保有者

- 解答するにあたっては、計算尺、電子式卓上計算機（プログラム機能がないものに限る）の使用は認めるが、ノート、書類等の使用は禁止する。

## <第二次試験>

### ①筆記試験

科目	内容	配点	試験時間
選択科目	1. 専門とする事項について、専門知識の深さ、技術的体験及び応用能力（記述式）	40点満点	3時間
	2. 当該選択科目について、一般的専門知識を問う問題（記述式）	30点満点	
必須科目	当該技術部門にわたる一般的専門知識を問う問題（記述式）及び（択一式）	記述式 15点満点 択一式 15点満点	合計で4時間

- 解答するにあたっては、計算尺、電子式卓上計算機（プログラム機能がないものに限る）の使用は認めるが、ノート、書類等の使用は禁止する。

### ②口頭試験（30分間）

筆記試験の合格者に対してのみ行う。

試問事項	配点
1. 受験者の技術的体験を中心とする経歴の内容と応用能力	40点満点
2. 必須科目及び選択科目に関する技術士としての必要な知識及び見識	体系的専門知識 20点満点 技術に対する見識 20点満点
3. 技術士としての適格性及び一般的知識	技術者倫理 10点満点 技術士精度の認識その他 10点満点

なお、詳細については、日本技術士会のHPを確認してください。

<http://www.engineer.or.jp/index.html>

## 2. 16年度の技術士試験のスケジュール

平成16年度技術士試験	
第一次試験	第二次試験
<p>受験申込書配付（4月14日(水)～）</p> <p>受験申込み（4月26日(月)～5月14日(金)）</p> <p>試験（10月11日(月)）</p> <p>合格発表(1月予定) 合格発表後、全受験者に成績を通知する。</p> <p>正答の公表 試験終了後速やかに試験問題の正答を公表する。</p>	<p>受験申込書配付（3月1日(月)～）</p> <p>受験申込み（4月1日(木)～4月12日(月)）</p> <p>筆記試験（8月8日(日)）</p> <p>筆記試験の合否及び成績通知（11月予定）</p> <p>口頭試験（12月予定）</p> <p>最終合格発表（2月予定） 合格発表後、全受験者に成績を通知する。</p> <p>正答の公表 筆記試験終了後速やかに択一問題の正答を公表する。</p>